

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
国語	古典探究	2	習熟度別	共通	3

教科書（発行所）	探求 古典探究 古文編・漢文編（桐原書店）
教科書以外の教材	1 三訂版 完全傍訳やさしくくわしい古典文法（尚文出版） 2 必携新明説漢文（尚文出版） 3 共通テスト+センター試験 国語過去問題（尚文出版）

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。
-----	--

学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期 【古文】 「蜻蛉日記」嘆きつつひとり寝る夜 「紫式部日記」日本紀の御局 【漢文】 「韓非子」侵官之害	・日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉える。また、作者達の苦悩を通して平安貴族社会についての理解を深める。 ・法家思想について理解するとともに、諸子百家の他の思想との関係・立場なども学ぶ。	課題考查 中間考查 期末考查
	2 学期 【古文】 「古今和歌集仮名序」やまと歌は「俊頼髓脳」和歌の効用 【漢文】 「世説新語」三横 【古文】【漢文】 R3年 第一日程・第二日程・特別追試 R4年 本試験・追試験 R5年 本試験・追試験 R6年 本試験・追試験	・最初の勅撰和歌集の「仮名序」を読み、作者の歌に対する考え方を理解する ・「古今和歌集仮名序」と関連付けて読み。「和歌の効用」について具体的に理解する。 ・故事・寓話・逸話を拾い集めて、そこから教訓を導き出し、漢文への興味関心を高める。 ・共通テストの過去問題演習を通して、文章の内容を的確につかむ読解力と、根拠を持って選択肢を吟味し選ぶ力を身につける。	課題考查 中間考查 卒業考查
	3 学期 R7年 本試験・追試験 R8年 本試験・追試験 進学希望者がいる国公立大学、私立大学、各種専門学校等の過去問題演習と解説。	・共通テストの過去問題演習を通して、文章の内容を的確につかむ読解力と、根拠を持って選択肢を吟味し。選ぶ力を身につける	

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 提出物・宿題の期限を必ず守る。 2 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 3 国語に苦手意識を持っていても、どれだけの努力をしたかが大切である。主体的・積極的に学習へ取り組もう。 4 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらせず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。 5 1年間の学習を通して言語感覚を磨き、思考力や自ら進んで表現する姿勢を養おう。
----------------------	---

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の方法	定期考查・課題確認テスト（小テスト）・課題レポート・日々題・週課題、授業に臨む姿勢や意欲及び自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。
-------	---